

| | | | | | |
|--------|-------------|-----|------|---------|-----|
| 教科(科目) | 美術 | 総時数 | 35時間 | 学年(コース) | 2学年 |
| 使用教科書 | 光村図書『美術2・3』 | | | | |
| 副教材等 | 秀学社「美術資料」 | | | | |

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

| | |
|----------------|---|
| グラデュエーション・ポリシー | <p>①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身に付け、グローバル(地域的・地球的)な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。</p> <p>②高い倫理観、他者を思いやる心、傾聴する姿勢、豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。</p> <p>③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け、地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。</p> |
| カリキュラム・ポリシー | <p>①中高一貫教育を生かし、高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに、すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。</p> <p>②読書、新聞・図書室の活用を奨励するとともに、体験活動を取り入れた教育課程により、幅広い教養を育みます。また、探究の過程を重視するとともに、最新の教育方法を積極的に活用します。</p> <p>③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに、「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また、積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。</p> <p>④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め、地球的視野で自分なりの社会課題を発見し、科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。</p> <p>⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに、生徒会活動、部活動、課外活動を通して、主体的・自律的に考え行動し、互いに支え、高め合いながら協働的に活動することを重視します。</p> |

2 学習の目標

| |
|---|
| <p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。</p> |
|---|

3 指導の重点

| |
|---|
| <p>①コラージュの制作では、素材と作品との関係について、考えを深めさせる。</p> <p>②土から絵の具を作ることで、日本画の技法を学び、また自然の素材を使った画材の作り方を知る。</p> <p>③モビールの制作により、生活の中で飾ることのできる作品作りを工夫させる。</p> |
|---|

4 評価の観点の趣旨

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り込む態度 |
|---|--|---|
| <p>・創造的な表現をするために、材料や用具を活用して表現する技能を身に付けている。</p> <p>・日本画の基本的な技法で描くことができる。</p> | <p>・材料から発想を膨らませ、形にしている。</p> <p>・立体をイメージし、造形することができる。</p> <p>・自然の物の観察結果を造形的に置き換え、作品作りに生かしている。</p> | <p>・日本の美術の美しさを制作を通して感じ取ろうとしている。</p> <p>・身の回りの物の美しさを見出そうとしている。</p> |

5 評価方法

| | | | |
|------|---|---|---|
| | 評価は次の観点から行います。 | | |
| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り込む態度 |
| 評価方法 | 以上の観点を踏まえ、 ・作品 ・取り組み方 ・提出物の内容 などから、総合的に評価します。 | 以上の観点を踏まえ、 ・作品 ・取り組み方 ・提出物の内容 などから、総合的に評価します。 | 以上の観点を踏まえ、 ・作品 ・取り組み方 ・提出物の内容 などから、総合的に評価します。 |
| | 内容のまとめりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとめりごとの評価基準は授業で説明します。 | | |

6 学習計画

| 月 | 単元名 | 教材 | 学習内容(指導内容) | 時間 | 評価方法 |
|----|--------------|--------------------------|--------------------------------------|----|-------|
| 4 | 身の回りの素材を生かして | コラージュの制作 | 材料から発想する制作についてのガイダンス。過去の生徒作品の鑑賞。 | 3 | 作品提出 |
| 5 | 身の回りの素材を生かして | コラージュの制作 | 雑誌、チラシから、写真や絵を切り抜く。 | 3 | 作品提出 |
| 6 | 身の回りの素材を生かして | コラージュの制作 | 切抜きを組み合わせ、生き物の姿を作る。 | 4 | 作品提出 |
| 7 | 身の回りの素材を生かして | コラージュの制作 | 生き物の姿に動きを持たせて画用紙に貼り付ける。タイトルを考える。 | 3 | 作品提出 |
| 8 | アニメーションの表現 | 「岸辺のふたり」 「アクメッド王子の冒険」 | アニメーション映画を鑑賞し、表現と説明の関係について学ぶ。 | 1 | 感想文提出 |
| 9 | 立体の飾り | モビールの制作 | モビールの制作。デザインを考える。 木材、金属などの材料の扱い方。 | 3 | 作品提出 |
| 10 | 立体の飾り | モビールの制作 | モビールの制作。木材、金属などによって立体物の制作。 | 4 | 作品提出 |
| 11 | 立体の飾り | モビールの制作 | モビールの制作。木材、金属などによって立体物の制作。 | 4 | 作品提出 |
| 12 | 立体の飾り | モビールの制作 | 作ったものを組み合わせ、バランスを考えて吊る。 | 3 | 作品提出 |
| 1 | 日本絵画の表現 | 土の絵の具 | 土をフルイがけして粉末にし、膠で溶いて絵の具を作る。 | 2 | 作品提出 |
| 2 | 日本絵画の表現 | 土の絵の具 | 土の絵の具で魚介類を描く。 | 3 | 作品提出 |
| 3 | 人物デッサン | 友達を描く | 友達をモデルとして人物デッサンをする。 | 2 | 作品提出 |

計 35 時間(50 分授業)

7 課題・提出物等

コラージュ、モビール、水彩画、鑑賞文

8 担当者からの一言

二年生の美術は、一年の学習の応用発展になります。

雑誌やチラシ、土などを使って作品制作します。

技術的には難しいところもありますが、一つずつ丁寧に取り組んで作品を完成させてください。(安田 洋)